



かえでゆうびん 9月号

2019年9月1日

社会福祉法人 清松学園

幼保連携認定こども園 かえで保育園

園長 引地 美津代

秋雨前線が活発になるこの時期、毎年大雨による、避難勧告・冠水・土砂崩れなどの被害が出ています。今地球上で何が起きているこの異常気象になるのか・・・この先自然の事象はどうなっていくだろうと心配になります。昔の季節を感じる夕立や秋のさわやかな風などを感じられていたように秋晴れのさわやかな9月になってほしいです。

さて、突然のお知らせになりますが、開園よりずっとかえで保育園を見守ってくださった辰馬章夫理事長が退任されることとなりました。

後任は辰馬啓之理事長となります。章夫理事長には、引き続きかえでを見守っていただけるとともにかえでの行事や折に触れて遊びにいらしていただきます。

思い返せば、開園前の準備の時白鹿本社の準備室で、子供たちの育ちのこと、世の中の流れ、昔遊びや歌、など二人でたくさんのお話をさせていただきました。章夫理事長の人柄にどんどん引き込まれていきました。そして私の保育人生も振り返りながらこれからの教育に必要な糧をいただきました。令和時代になりまた新たな体制となりますが初心を忘れず『子供たちの未来』を支える教育を深めていきたいと思っています。章夫理事長、9年間ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

8月はハッピープールやプール遊びなど夏ならではの遊びを進めてきました。かえで初めて金魚すくいを楽しみました。赤い金魚に目を丸くしてこわごわ水に手を付ける子どもや手づかみで金魚を取ろうとする子どもなど、様々な遊び方で満喫できたようです。金魚さんには申し訳なかったのですが、終わったらゆっくり水槽で休んでもらい、また出番を繰り返しながら今では外のビオトープでゆっくり過ごしてもらっています。この小さな経験ではありますが、金魚の様子を毎日見に来て声をかけてくれる子供たち。「また明日ね〜！」と金魚のえさを上げながらも小さな金魚たちも少しの間でしたがかえでの仲間になったような様子でした。

子どもにとっては人間も虫も草花も同じ「命」で同じように過ごしていく仲間なんですね。

事務所の私の机の横には「いるかちゃん」という3キロほどの重さのある人形がいます。幼児さんは毎日「いるかちゃん」を遊びに誘いに来ます。子どもにとっては重い（本当の重さ）ので両方の手でしっかり抱っこしてお世話をしてくれています。先日お風呂に入れてあげようと手足を石鹸で洗ってあげました。一緒にいた子どもたちは「よかったね〜。気持ちいいね」と声をかけながら目を細めていました。服も汚れたから洗って気持ちよくしてあげるとこどもたち二人で服や靴下も手洗いしてくれ、夕方にはすっかり渴き、「いるかちゃん」もさっぱり。人形もすっきりした顔になり喜んでるように見えました。

この子どもの時期の疑似体験こそ、大事な体験でまねっこ遊びはやりたい気持ちをより深いものにしていきます。教えられるより真似をして自らの体験の中から自らが工夫をして遊びを進める経験が大事です。

主体的に・・・ということは「しなければならぬ」ではなく「やりたい」ことを自分が決めることです。

やりたいことを自分でしていくにはやれなかったことも経験します。このやれなかった時こそ自分で工夫したり、考えたり、立ち止まったり。人形遊び一つでも2階の部屋から毎日いるかちゃんを連れに来て遊び、様子を見て服を洗ってあげたり、大切に抱いてあげたり、ミルクを飲ませてあげたり子どもの生活の中の「お世話をする」ことが営みとなっています。抱っこしたり、ミルクを飲ませたり、順番を決めたわけでもないですが子供同士の間合いで役割が決まっているようです。皆が同じ目的

（ままごとであかちゃんのお世話）が楽しい遊びにつながってきます。こうして集団遊びをしながら人との間合いを感じ、習得していきます。これから2学期の保育が始まります。1階はめばえ・ふたばも子どもたちの成長に合わせて小さな異年齢保育を進めていきます。幼児・2歳児は異年齢保育を中心に遊びを自らが選択し、自分のやりたいことを大切に友達ともつながり仲間づくりを深めていきます。夏の体験がますます実っていくこの時期の成長を楽しみに保育を進めていきます。

にこにこメッセージ

暑さを感じる時期が今年は短く、夏があっという間に過ぎていきました。

今年は、園庭でセミやバッタ、カマキリを見つけることができました。

セミを捕まえるとき子どもたちは網の使い方がだんだんと上手くなり、手を伸ばしても届かない所は職員に抱っこしてもらって、捕ったりすることもあります。毎年、破れてばかりの網も今年は使い方が丁寧になり少し長持ちしています。生き物に興味がある子は捕ることに夢中、触ってみたいけど動く虫を触るのは苦手な子は、図鑑で名前を調べてみたり「何を食べるのか?」、どういう風になると飼うことができるのかを調べたりします。セミは捕まえて虫かごに入れてしばらくしたら逃がすなど、子どもたちの中では虫によつての係わり方やルール、道具の使い方が自然と認識できたようです。小さな虫に出会う幼児期は、虫にも「命」があることを知る機会でもあります。「触ると死んでしまうからかわいそう、見るだけにしたほうがいい」など、子どもにも様々な意見がありますが、正解はないと思っています。

良い悪いではなく子どもが思うことを傍で共に感じていきたいと思います。

室内では鈴虫の音色が素敵です。

来年も出会えるように子どもたちと産卵から越冬の準備を始めていきます。

主幹教諭 藤森 寿美

園庭でつぼみさんが松の木の下に家を作っていましたところに、ふたばさんがやってきました。何も知らずに家の中に入ると、つぼみのA君が「そこは はいらないでください」と声を掛けました。ふたばさんがそこに座り続けていると、「はいりたかったら いれてってゆってください」とまたA君。どちらが譲るのかな、と興味深く見ていると、A君が「ここは おうちなんだよ」と言いました。『おうち?』『そうだよ。ここから はいるの。』と家のことを教えてくれます。家の約束事を教え終わると、A君は納得したのか他の遊びに行ってしまうました。ふたばさんもA君が行ってしまった後、『はいります…』と小さな声でぼそっと言い、A君の家に入っていました。年齢が違うから、言葉の差があるから、という勝手な思い込みがありましたが、子ども同士の関わりの中には、大人が思っているよりも自然な繋がりがあるのだと実感しました。また、大人がすぐに間に入ってしまうのではなく、子ども同士にしか出来ない関わりを見守っていこうと思います。

乳児リーダー 谷角 早紀

「明日は私の誕生日だよ」と嬉しそうに教えてくれた A ちゃん、翌日は誕生日会がありました。0 歳から毎年みんなでお祝いしてきた A ちゃんの誕生日も、今年が最後となりました。しかし誕生日会では、皆の前に出て自分のことを発表するときどきの時間があります。更に、だいちさんは自分でマイクを持ち話します。

ときどきする気持ちから涙を浮かべることもあった A ちゃん、今年はどのような姿が見られるのだろう…と保護者の方も保育者も皆で見守っていました。

誕生日会当日、A ちゃんが少しときどきした様子で登園しました。「誕生日会でどんなことをお話しする？」と尋ねると、ゆっくりゆっくりと考えたことを言葉にして話してくれました。

「大丈夫、大丈夫」と声を掛けますが、緊張からか表情は曇っています。そこへ、お手伝い保育で来てくれていた小学生の B ちゃんが画用紙できれいなバラを作ってくれました。大きなバラと小さなバラの花。

B ちゃんが心をこめて作ってくれたことがとても嬉しくて、このパワーを A ちゃんとも分け合えないかと思いました。

「この小さいバラ、B ちゃんが作ってくれたんだよ」と手のひらに乗せてみせると、「かわいい」と A ちゃんもにっこり。「じゃあこの小さいの、洋服につけておこうか。A ちゃんの誕生日会が楽しくなりますようにって、おまじない。お揃いだよ」真っ白の服にピンクのバラがとっても似合っていて、A ちゃんのいつもの笑顔が見られました。

子どもたちは日々の生活やあそびの中でも出来ることが少しずつ増え、保護者の方や保育者間でも喜びを共有していますが、それが次第に自らも“できた”“できるようになった”と感じられるようになります。

ときどきする経験も、自分で“できた”を感じられるきっかけとなるのではと感じます。

子どもたちにとって自信に繋がる経験、自分を好きになれるきっかけづくりのお手伝いが出来れば嬉しいです。心のこもったバラの花をプレゼントしてくれた B ちゃんには、ありがたい気持ちをまた伝えたいと思います。

河本 彩奈

【 今月の先生コーナー 】

先日、夏季休暇を利用して妻の実家がある豊岡へ行ってきました。市内からは離れている場所で、周りは山々が連なり、田んぼや畑が広がっていて運が良ければ野生のコウノトリを見ることができるといかな場所です。この夏の時期は青々とした田んぼの苗が立派に育ち、特有のほのかな稲の香りがします。その香りと風景を見ていると、子供の頃に毎年夏休みに行っていた大分の祖父母の家の風景とそっくりなことに気がきました。祖父は昔からお米作りが得意で、お米の等級では一番上の一等米を毎年作るほどでした。残念ながら五年前に天国に旅立ってしまいましたが、一緒に軽トラックに乗って田んぼに付いて行ったことや嬉しそうに苗の世話をしている笑顔がふと豊岡の風景と重なってしまい、大分で過ごした夏休みは自分にとってとても大切な宝物だったなと感じました。かえで保育園の子どもたちも、この園で過ごす日々を何年、何十年たっても、何気ない時にふっと思い出してくれる心の故郷になってくれれば嬉しいなと思います。その体験の中の食事の味覚を大切にしておはんづくりをしていきたいと思っています。

栄養士 河田 泰隆

～めばえぐみ～

ねらい：「絵本を楽しむ・体を動かすことを楽しむ」

う た：「チョチチョチアワワ・どんぐりころころ」

8月でめばえ組のお友達が全員1歳を迎えました。お誕生日カードを渡す時には、保育園のお友達みんな集まってお祝い！一緒に手を叩いたり拍手をしたり、まだ意味は分かっていませんがみんなが笑顔の様子を見て、めばえ組のお友達も楽しそうにしていました。生まれて1年、これから待っている新しい出会いや初めての体験を子ども達と一緒に楽しんでいきたいと思います。

～おみずばしゃばしゃ～

7月末からみんなが楽しみにしていた水遊びが始まりました。めばえ組の子ども達は一人ひとり小さな桶の中に入って水の感覚を楽しんでいます。どの子どももお水が大好きで、水面をパシャパシャと叩いて水しぶきを立ててみたり、ジョウロやカップから流れる水に手を伸ばしてみたり、顔にかかってもへっちゃらで、全身で水を楽しんでいますよ。隣ではふたば組のお友達が少し大きなプールに入って遊んでいます。その様子をじーっと見つめ、指差して「あっち入れて～」とアピールする子や、自分で桶から出て大きなプールに入ろうとしたりする子もいましたよ。

また園庭でも泥や水、砂を全身で感じながら遊んでいます。水たまり、じゃぶじゃぶ池、ポンプからの流水、水道、泡遊び…どれも見つけると目をキラキラさせながら子ども達自ら進んで近づいて行きます。

さすが、「めばえさんがこんなダイナミックに遊ぶの!？」と大人をビックリさせてくれるお水が大好きでアクティブなめばえ組の子ども達！次はどんなことに挑戦していくのか毎日楽しみです。



ふわふわのマットで遊んでいました。またランチルームで幼児さんの素敵な歌声も聞こえ手拍子してみたりゆらゆらリズムに乗って楽しんでいま所に出かけて新しい出会いの

～はじめてのランチルーム～

8月は暑い日が続きましたね。猛暑日や雨の日は屋内で過ごすのですが、元気いっぱい子ども達と身体を動かして遊びたい!とお部屋を飛び出して広いランチルームで遊びました。

初めてのランチルームに「いいの?」「ここどこ?」と少し緊張気味の子ども達でしたが、たくさんのボールやトンネル、



く内にどんどん笑顔が溢れていきま遊んでいると丁度こここ広場からえてきました。歌声に気が付くと、体を動かしてみたり、その子なりにしたよ。これからも園内の様々な場体験していきたいと思います。

“担任の思い”

今年のめばえ組はよく食べ、よく遊び、よく眠る子ども達ばかりです。多めに入れてもらったご飯を完食し調理の先生を驚かせたり、お外では全身濡れて汚れても笑って遊び続けたり、全員がしっかりと1時間以上お昼寝も出来ています。遊びも休息も毎日全力で取り組んでいます。

これからもいっぱい遊んで、食べて、寝て元気にすくすく大きくなって欲しいと願っています。

立田 瑛怜菜・高田 奈沙・植木 雅

～ふたばぐみ～

ねらい：「友達と一緒に遊ぶ事を楽しむ・色々な素材に触れて遊ぶ」

う た：「とんぼのめがね」「まつぼっくり」 わらべうた：「アジアシアヒル」

8月は暑い日が続きましたが、水遊びやプール遊びなど暑さをしのぎながらもたくさん遊ぶことが出来ました。暑い夏を過ごした子どもたちはまた一回りぐんと大きく成長してくれたように感じます。

～プール遊び～

みんなが楽しみにしていたプール遊びが7月末から始まりました。大きなプールを見て「早く入りたい！」と言う子もいれば、「ちょっと怖いな」と顔を強張らせている子もいましたがいざ入ってみると水が冷たくてきもちいい！バケツやじょうろを使って水をながして遊んでいました。また、水が平気な子はわにさん歩きをしてプールの中を歩き回ったり顔を付けて「ぷはーっ」と全身で水



遊びをしていました。スコップを使ってままと遊びをする子もいて、友達と「お買い物いこう」と水の中で買い物ごっこをしていました。

プール遊びが始まってからは園庭での水遊びもダイナミックになってきました。たらいに入っている水を手でバシャバシャと水しぶきをあげて遊んでいます。最後には手だけじゃ足りず、タライに入って遊んでいました。

～ともだちと～



最近はクラスの先生との関わりだけでなく友だちと一緒に遊ぶ姿がたくさん見られるようになりました。「おててつなごう」と声を掛け、手を繋いでお散歩に出かけたり二人で赤ちゃんのお世話を一生懸命してくれています。また、友だちが泣いていると駆け寄り「大丈夫？痛いのか？」と心配することもあります。まだ言葉を話せない子も大好きな友だちに「ぎゅー」とハグをしている姿はとても可愛いです。



“担任の思い”

毎日の生活の中でも歩けるようになったり走れるようになったり話せる言葉が増えたりできなかったことが出来るようになったりと子どもたちの成長はとても早く、毎日驚かされることばかりです。遊びだけでなく着替えや食事も「自分でしたい！」という気持ちが強く、保育者は見守るばかりですが子ども達の気持ちを大切にしていきたいながら毎日を過ごしていきたいです。9月も水遊びをしたり土や葉などの自然物、いろんな素材に触れて遊んでいきます。

原田 千尋・林 千紗・小板橋 円香

～つぼみぐみ～

ねらい：「異年齢との関わりを楽しむ・友達と一緒にいることを喜ぶ」

う た：「とんぼのめがね・こぎつね・なべなべ」

暑い日にも元気いっぱい外遊びを楽しんで過ごしているつぼみさん。「汗かいた～」と言いながらセミ取りや水遊びなど夏ならではの遊びを思うままに楽しんでいます。水遊びでは竹や管、バケツを使って友達と工夫しながら水路を作り、そこに葉っぱを流して遊ぶことも楽しんでいます。セミ取りでは、セミが鳴いているほうに行って木を見上げて見つけると友達に「こっちにいた！」と教えてあげていました。虫網で順番に捕まえようとしながらも難しいこともあり、お兄さんに捕まえてもらうことも。捕まえる姿に憧れる様子も見られました。

～プール遊び～

「今日はプール？」といつもワクワクしながら尋ねてきています。「明日はプール？水着とタオルいるよね」と自ら保育者に持ち物を確認することもあります。「早く入りたい！」という気持ちから「自分で出来る！」と意欲的に着替えることもできています。つぼみ組になって初めての大きなプールに入るときの約束事を知り、顔に水を付けたり足でばしゃばしゃと水しぶきをあげたり、ワニさん歩きをするなど水の感触を楽しめました。浮かんだ魚のおもちゃを拾うと自分の分だけでなく「はい、どうぞ」と水が苦手なお友達に声を掛けてあげる優しさも見られほっこりしました。



～野菜いろいろ～

野菜に興味や関心がどんどん広がってきました。きゅうりの栽培をしていることから様々な野菜に興味を持ち始め、ままごとで野菜を使ってお弁当を作ったり、絵本や図鑑を見ては「お家で食べたことあるよ」と友達同士で話したり保育者に「これはな～に？」と聞いたりしています。栽培している物だけでなく様々な野菜に触れる経験が出来ればと思い、献立の野菜紹介もしています。実物の野菜を見て触れることで手触りや形、匂い「中はどうなっているの？」など疑問に思ったりもしています。きゅうりの収穫から包丁を使う経験も出来ました。保育者が手で支えながら包丁を持つと、ときどきわくわくしながら慎重に切っていました。切ったきゅうりを「おいしいね」と話しながら美味しく食べました。自分たちで育てた野菜だからこそ嬉しさや美味しさがより感じられたのではないかと思います。オクラやゴーヤのスタンプをする機会も作り、「お星さまの形だ！」と形や色を楽しみながらスタンプを楽しんでいました。様々な体験から不思議や発見が生まれ図鑑で調べてみたり、遊びが広がっていくのではないかと思います。子どもたちと共に様々な経験や食を楽しみたいと思います。



“担任の思い”

普段の生活や遊びの中で「やってみたい」、「自分で」という思いが増えています。保育者の姿を見てお皿やタオルを片づけようとしたり、メダカの水槽の掃除を試みたりなどお手伝いや遊びでも自分のしたいことを見つけて行動しようとしています。子どもたちの様子を見守りつつ時には手伝いながら保護者の方と共に成長を感じていきたいです。

山本あかね・日笠 加菜・星加由美子

～いぶきぐみ～

ねらい：「楽しいこと・嬉しいことを友達に伝えてみよう」

う た：「線路は続くよ」 「とんぼのめがね」

子どもたちの額に汗がにじむ夏も気付けば9月になりました。8月の園庭では、色水作りや水路作りなど常に子ども達のそばに水があり、顔や全身が濡れるほど思いきり水遊びを楽しみました。セミの音が聞こえてくるとみんなで網を持って追いかけたりゼリー流しやスイカ割りをしたりと夏を存分に楽しみました。ひと夏がすぎ、またひとつ大きくなった子ども達が今後どんな成長が見られるか引き続き楽しみです。



～はみがきをはじめたよ～

8月から歯みがきを始めました。昼食後に歯ブラシを取り赤の長椅子に座って少人数で行っています。自分の歯ブラシがあること自体が嬉しい子も多く、友だちと楽しい雰囲気の中で磨くことが出来ています。前回受けたブラッシング指導を思い出しながら「歯ブラシの使い方はこうだよ！」とお互いに声を掛け合いにっこり。最後には「先生できてる？」と確認し鏡でピカピカになった歯を見て喜ぶ姿もみられました。

「おうちでもはみがきをはじめたよ」といった嬉しい声も聞こえ

これからも歯を清潔にすることの大切さを伝えながら継続していきたいと思います。

毎月はじめに新しい歯ブラシのご準備よろしくをお願いします。

～ときどきわくわくハッピープール～

夏になってからはだいち組のお城ごっこに参加しお茶屋さんに招待してもらったり、水路づくりや泥遊びを思い切り楽しんだり、異年齢での関わりが深まるような機会が多くありました。

幼児クラスでは火曜日と水曜日にプールあそびをしています。実はそのその2日以外でもプールを使って遊びを楽しんでいます。時には泡風呂になったり、ボールプールになったりと普段しない遊びが用意されており、ハッピープールが開催される日には

「今日はハッピープールだ！」と朝からにこにこ笑顔が溢れています。次第に秋に向かっていきますが、引き続きクラスと友だちとの仲も深めていきながら、異年齢活動の中でもたくさんの刺激を

受け、新たな発見や経験に繋げていけるようにしたいと感じています。



“担任の思い”

異年齢活動も大好きな子どもたちですが、最近は同じクラスの中での関りも深まってきました。「一緒に遊ぼう」と誘い、上手くいくときもあれば「今は待ってね」と言われ葛藤したり、相手の思いを受け止めて「わかった」「またあとでね」と少しずつ互いを思いやる言葉も聞こえるようになりました。「自分の思いを伝える」「相手の思いを知る」という経験をたくさんしていきながら、信頼し合える仲間関係を築き、思いを受け止めあえる安心感を感じ過ごしていけるように見守っていきたいと思います。

木下 明友美

～ひかりぐみ～

ねらい：「友達と一緒にあそびを楽しもう」

う た：「やまのワルツ」「むしのこえ」

まだまだ暑い日が続きますが、朝と夕方は風が涼しい季節になってきました。ひかり組が育てている鈴虫がきれいに鳴くようにもなりました。鈴虫の声を聴き、季節の変化を感じている子どもがいるかもしれません。ひかり組の子ども達も、毎日生き物や植物のお世話をしていく中で、子ども達の姿に変化が出てきました。子ども達だけで自主的にお世話をする姿が見られます。「私は水をあげる」「僕はエサをあげる」と役割分担していくようになってきました。これからお世話係をしていく中で、子ども達がさらにどのように変わっていくのか見守っていきます。

“ぐんぐん育つぞ、さつまいも”

ひかり組で育てている生き物は元気に育っていますが、さつまいもも負けずにどんどん葉が大きくなっています。苗を植えた時は、「これは僕が植えたさつまいも」と自分の植えたところに水やりをしていた子どもが多かったです。今ではどこからどこまでが自分のさつまいもなのか、分からないようになりました。「さつまいもはどれくらい



大きくなっているのかな」「おいしくなるかな」とみんなで想像しています。収穫を楽しみにしながら、これからもお世話を続けていきます。

“楽しいプール”

7月からプールが始まり、新しく変わったルールなどにも慣れてきた様子です。木曜日の松岡ゆうき先生とのプールでは、毎週ゆうき先生がサメに変身するのを子ども達は楽しみにしています。友達とペアになって遊んだり子ども同士での関わりが多くあります。朝ゆうき先生を見つけた瞬間みんな嬉しそうにゆうき先生の元へ駆けつけます。「今日は何をするのだろう」と体操の時間が楽しみな様子です。火曜日のプールでは、3つのコースに分かれた異年齢でのプールに子どもたちはなんだか



嬉しそうでした。朝その日の気分によってコースに選び、「今日のはんびりタイムにした」と友達に話したり、先生に報告している姿が見られます。「早くプールに入りたい」とワクワクしながら待っている姿もすごくかわいらしいです。水が苦手な子どもも積極的に遊びに参加しています。プールが気持ちよく、楽しいのでプールの時間が終わると決まって「早い」「もっとしたい」という声が聞こえてきます。プールが楽しくてたまらない子ども達でした。

“紙ではなく顔に描こう”

太田先生との絵画で、フェイスペイントを行いました。1人ずつ鏡を持ち、今日は自分の顔に絵の具を付けると知り、子どもは大騒ぎ。友達と楽しく話しながら、でも描く時は鏡を見つめ自分と向き合う子ども達。友達と出来た顔を見せ合い、笑いあっていました。できた顔のまま部屋に戻ると他のクラスのみんなはびっくり。その顔を見てもっと嬉しくなったひかり組のみんなでした。



“担任の思い”

生き物やさつまいもなど様々なお世話を始めて、子ども達の中で、責任感が少しずつ芽生えてきています。お世話を忘れていたときもありますが、誰かが思い出し友達と「お世話をしなきゃ」と声を掛け合うようになりました。生き物が死んだ経験が続いたことから、子ども達の中で「私たちがお世話をしなければ生き物たちが死んでしまう」という思いを抱くようになり、少しずつ命への思いや責任を持つようになったことに、とても嬉しく思います。

松岡 桃花

～だいちぐみ～

ねらい：「友達と力を合わせる喜びを感じる」

う た：「切手のないおくりもの」

8月に入り、だいち組のなかでも少しずつ関わりが広がってきました。「虫のことをよく知っているのはAくん」「折り紙が得意なのはBちゃん」など、友達の素敵なおところや面白いところを見つけては、声をかけて一緒に遊んだり、得意なことを教え合う姿が見られるようになってきました。気の合う友達と仲深めることも大切ですが、9月では様々な友達と関わり、同じ目標に向かって力を合わせることも経験してほしいと考えています。一人ひとりのいいところを認め合いながら力を合わせる喜びを感じて欲しいです。



“尼崎城に行きたいな！”

姫路城に行ってからも、城への興味が続いており、次はどこに行きたいか相談が始まりました。

壁の色が真っ黒で魅力的な熊本城の案も出ましたが、日本地図を広げると「なかなか遠いね。」と距離に気が付き、武器を触ることが出来る！と噂を聞いていた尼崎城に決まりました。

行き先が決まると、姫路城に行った時のことを思い出しながら、路線図を見て何の電車に乗るのか、どの駅で降りるのか、尼崎城に行ってどんなことを調べたいのか、それぞれで考え相談していました。

クラス全体での話し合いとなるとなかなか自分の思いを発表出来ずにいた子も、お家で行き方や尼崎城についてを調べて、みんなに知らせてくれる姿も見られました。

また、「お城に行くなら、持っていかないといけないものがある！」とちょんまげや手裏剣、お姫様の髪飾りなどそれぞれが必要だと思うものを作り、調べた路線図と地図を持っていざ出発！

自分達が調べてきたことを一つひとつ確認しながら進み、尼崎駅に着くと、看板や目印をたよりに歩きお城が見えてくると、「見えた！！あったぞ！」と大興奮です。

お城の大きさをじっと観察したり、姫路城のとき、疑問に思った入り口も探し出し、城に入りました。城内では昔と今の街並みを見比べたり、忍者やお姫様に変身できる場所もあり、大喜びのだいちさんでした。

尼崎城に行ったことで、してみたいことがたくさん出てきたので、保育園に帰ってきてから、様々なことに挑戦しています。

昔の生活を体験してみようということで、昔の洗濯板を使って洗濯をしてみたり、以前積み木で作った姫路城を一度壊して、尼崎城と城下町を作っています。城下町では、大きな木や池があり、川には大きな橋が架かっていたり、子どもたちが実際に尼崎城で見た景色と、こんなものもあつたらいいなあ、と考え出したものも作っています。

保育園全体を昔の街やお城にしたい！という意見も出てきており、これからどのように遊びが広がっていくのか楽しみです。



“担任の想い”

姫路城に出かけたことが楽しかったようで、「まただいち組でおでかけしたいな。」「次はどのお城にいかか。」と子どもたちの話のなかで様々な意見が出てきたことも、うれしく思いましたし、自分たちがやってみたい、知りたいという気持ちがあるからこそその表情が尼崎城で見ることができたと思います。子どもたちのキラキラした目を見ると、これからたくさんを知り、学んでいくのだなと感じます。

今、たくさんのことを見て、体験する機会をできるだけ多く作っていきたいです。

保護者の方からのおはなしコーナー

いぶきになってから、甘えていたのが、「自分でかばん持つ」、「洋服自分で選ぶ」「ご飯持って行ってあげる」とお手伝いやできることをやろうとしてくれるようになりました。「お姉ちゃんになってきた！」と嬉しそうな姿が、まだまだ可愛いなあと癒されます。

いぶき組 ゆみこさん

ここ最近には特に自分の意思表示がはっきりしてきました！！

ご飯を食べるのは安定に大好きで「ごはんだよ～！座って～！」と言うと自ら座り、お茶をひとまず飲み、「まだ？早く！！」とガン見されます。そしてよく家のゴミ箱をあさります。

めばえ組 まりさん

「母さん、携帯持った？戸締りは？ガス大丈夫？」朝のバタバタ登園前の玄関で声を掛けてくれます。自分の用意はさておきなのですが、とても助かっています！私が「あっ携帯忘れた」と戻ると「もうー母さん、おっちょこちょいなんだからー！」とポツリ一言…。最近はどんどんしっかりしてきてめばえさん達を妹や弟のように園での様子を話してくれます。

ひかり組 つぐみさん

好きな事がどんどん増えてきた息子。玄関にいる虫さん、カエルさんに興味を持ち始め、最近では図鑑がとってもお気に入りのようで、お迎えに行くといつも図鑑を真剣に見ています。

これからも沢山の事に触れ、好きな事、好きな物が増えていくといいなと思います。

ふたば組 あやかさん

言葉を最近いっぱい増えた息子。園で覚えた言葉をお家でもたくさんしゃべっています。「ママ、はいここに座って、絵本の時間だよ」「読んでもいいですか～、読んでもいいですよってママ」って。反応したら、小さな手で絵本を持っている振りをして、「むか～しむか～し」と絵本を読み始めます。

読んだ振りをして、最後に「おしまい」とちゃんと締めくくってくれて、とても面白いです。

つぼみ組 みょうこさん

だいち組になり、ペアの子のお手伝いをするようになった息子。

先日、「だいちってなあほんまに大変やねんで！」と呟きました。「だってな、ペアの〇〇ちゃん食べるのゆっくりやし」（…いやいや君だって話してばかり全然食べないやん）

「昼寝から起きるの遅いし…」（…いやいや君も朝全然おきてないやん）と心をぐっとこらえ、労をねぎらっています。

だいち組 さなえさん

水が苦手な息子。お風呂に入る前は、いつも逃げ回って一苦労。ちょっとでもお湯が顔にかかったら「目ん目が！目ん目が～！！」と大騒ぎなので、保育園のプールは大丈夫か心配でしたが、お迎えに行くと「今日、プール楽しかったよ」と嬉しそうに報告してくれます。少しずつ水に慣れて、お風呂の時間が楽になったらいいなあと期待しています。

つぼみ組 みゆこさん

☆お台所から☆

9月とはいえまだまだ残暑の厳しい日々が続いていますね。夏の疲れが出てきやすい時期ですが細目に水分補給をし、しっかり食事をとって子ども達は毎日元気いっぱい過ごせています。

さて、秋は実りの秋。お米をはじめ、さまざまな作物が収穫の時期を迎えます。かえで保育園のさつまいももそろそろ収穫できるころでしょうか。採れた野菜はどうやって食べようか子ども達と相談して、クッキングに繋げていきたいと考えています。

今年の8月13日は「中秋の名月」と言われる十五夜です。別名「芋名月」とも言われるそうです。

保育園でも里芋の入ったお味噌汁やおやつにお月見団子を献立に取り入れてみました。ススキ、お団子をお供えして感謝していただきたいと思います。

8月の食育活動の様子

- ・レタスちぎり（つぼみ）

お昼ごはんのレタスをちぎってもらいました。最初はこれぐらいの大きさでいいかな？と聞きながらでしたがコツをつかむともくもくと取り組みあつという間に全部ちぎってくれました。サラダになるの楽しみだねえとお友達同士で話す姿が可愛らしかったです。

- ・おやつのパizza作り（だいち）

餃子の皮の生地ケチャップを塗りにとうもろこしやツナをトッピングしました。だいちさんのパワフルさがつまった具材盛りだくさんな美味しいピザが完成しましたよ。

- ・その他にはカレーのにんじん、たまねぎ、じゃがいもの皮むきをしました。

9月に予定している食育活動

- ・きのこごはんのきのこに触れる
- ・ピーラー、包丁を使ったクッキング

8月の献立 旬の食材

しめじ	エリンギ	まいたけ	さつまいも
ごぼう	さんま	里芋	梨

<かえで保育園のおすすめレシピです♪>

<マシュマロコーンフレーク>

【材料】

- ・コーンフレーク（無糖） 100g
- ・バター 20g
- ・マシュマロ 80g

【作り方】

- ①鍋でバターを溶かし、溶けたらマシュマロを加える。
- ②コーンフレークも加え手早く混ぜる。
- ③冷蔵庫で冷やし固まったら切り分けて完成。





10月より保育料の無償化、給食費の保護者からの徴収と制度が変わります。詳しくは別紙にて説明させていただきます。

実習生がこられます。

- ・2日～14日親和女子大学1名
- ・3日～13日神戸松蔭女子大学1名

こんなことしたよ♪

ハッピープールがと名付け一日「水」をテーマに保育を進めました。

第1回目の金魚すくいでは、本当に生きているたくさんの金魚に大興奮の子ども達。幼児さんの遊びから広がって実現したお茶屋さんでは、だいち組のお友達が美味しいお茶とカステラを振る舞ってくれましたよ。

また、2、3回目には泡でいっぱいのお泡あわプールや、ランチルームでボールプールも楽しみました。



夏休みで卒園生の小学生がお手伝い保育に来てくれています。1年生から6年生までたくさん子ども達が来てくれているのですが、「これ覚えてる～」「これあたらしくなったん？」と懐かしんでいる姿がよく見られます。小さなお友達のお世話もしっかりしてくれて、みんな素敵なお兄さんお姉さんになっていましたよ。

感想を玄関に掲示していますのでぜひご覧ください。



☆お願い☆

- ・プール遊びは終わりますが、シャワーの有無などの健康調査票への記入を忘れずお願いします。記入漏れがあると、園外保育などに参加できない場合もあります。必ず、検温、降園予定時間、迎えの予定者の記入をしてください。



《9月の予定》

- 2日(月) だいち大谷美術館へ
ボローニャ絵本原画展
(雨天時は6日に出かけます)
- 13日(金) だいち 園外保育
- 18日(水) 敬老週間開始
- 24日(火) 誕生会
- 21日(土) から 23日 園庭築山の工事を行います。
- 27日(金) 人形劇(クラルテ)
月例健診
- 29日(土) かえでカフェ(フラダンス)
13:30～
ダンディタイム
15:00～園庭整備
- 5・12・19・26日(木) 体操
- 4日(水) 20日(金) 絵画

《10月の予定》

- 19日(土) うんどう発表会